

令和6年度 第1回（4月）教育委員会定例会 会議録

日 時：令和6年4月22日（月） 15時00分～17時00分

場 所：村民センター 小会議室

出席者：教育長 清水 閣成 教育長職務代理者 田中 博美

委 員 出羽澤 和子・千 菊夫・増澤 智代

事務局：教育次長 藤澤 勇

書 記：本間 裕子 以上7名

傍聴人：なし

1 開 会

2 教育長あいさつ

- ・増澤教育委員、初めての定例教育委員会です。よろしくお願いいたします。
- ・お手元に学級担任に「手当加算へ」の記事（信濃毎日新聞 R6.4.20）をお届けしました。中教審の特別部会による、教員確保策素案のポイントとして、処遇改善・働き方改革・学校の指導運営体制について記されています。今後、注視していきたいと思います。

3 付議事件

※特になし

4 報告・確認事項

（1）新年度スタート 学校の様子・教育委員会事務局の動きについて

教育長

- ・小中学校で校長・教頭7人のうち、5人が異動。張り切って新年度がスタートしている。また、相談室に係る子ども達等の状況も新たなステップを踏んでいる。

教育次長

- ・機構改革により、学校教育係がこども館に移動し、こども施設係・放課後児童クラブ給食センター等、業務の広がりがある。未だ動き出しの段階であり、今後状況の中で業務内容等を整えていきたい。

(2) 令和6年度南箕輪村の教育について

<会議資料 1>

教育長

- ・昨年度 3 月の定例教育委員会でお示した内容、特に学校教育の取組みについて変更した。ご意見をお願いしたい。
- ・ふるさとをため込み育つ子」の基、変更点は、学校教育で目指す学校像として「子ども一人ひとりが満足する学校」とし、授業づくり・温かい学級づくり・生活づくりを据え、子ども一人ひとりの意見・考えの尊重 ・多様性を認め合う関係づくり ・その子の学びの保障を大事にしていく。(当然のことですが、改めて) 子どもにとって、楽しい・満足する学校を目指す。

4 月 15 日の校長会でも共有を図っている。例えば“寝っ転がって授業を受ける”子どもがいてもよい、のようなその子の学びのスタイルを保障したい。

- ・機構改革により、今まで以上に関係機関の密なる連携により“子どもの窓口一元化” “子どもを横と縦につなぐ” 相談体制の充実を目指す。

※社会教育・村及び地区公民館活動、家庭教育、学校教育と社会教育・家庭教育の融合について説明

教育委員から

- ・漏れがあっても困ることですね。
- ・信州型コミュニティースクールとは。

教育長

- ・南箕輪小学校「桜が丘応援隊」南部小学校「フクロウの会」等、学校評議員会を含め「学校応援隊」と受止めている。

教育委員

- ・多くのまた広い視点での施策等がある。

教育長

- ・時間を要すること、早急に動かなければならないことを盛り込んでいる。また、予算が関係することもある。願いの中で、関係する方、地域の方のお力をいただきながら進めたい。

教育委員

- ・地区の公民館で、“地域で子どもを育てる” 営みとして、土日の子どもたちの居場所として動き出しているところがある。地域の方が子どもを巻き込む動きを大事にした

い。

- ・ 3月の“まほうのお鍋（こども食堂）”に中学生ボランティアの参画があった。その時に、ボランティア認定証（仮）のようなものを出すことができれば、その子（方）の履歴（ポートフォリオ）になるのでは。

教育長

- ・ いいなと思う。公民館の“未来塾”、社協、“まほうのお鍋”等で活用していく方向を考えたい。子どもが“あてにされる”ことを培いたいと思う。

教育委員

- ・ カマ塾でも検討したい。
- ・ 大学等での単位としては、誰が評価するかの位置づけが必要となるのではないかな。問い合わせてみては。

教育長

- ・ 6年度の目指す村の教育は、この計画でよろしいでしょうか。皆様の総意として、いろいろなところで出していきます。また、計画ですので、随時見直し・修正等を行っていきます。

教育委員

- ・ 了解

（3）児童・生徒数について

＜会議資料 2＞

※会議資料にて報告

教育長

- ・ 日本語指導が必要な児童生徒が増えてきている。現在、日本語指導支援員を一人配置している。

（4）事故報告

＜会議資料 3＞

※非公開

（5）検討課題

教育長

- ・ 村長から4月の庁議で以下の検討課題を伝えていただいた。ご意見・お考えをお願いします。①については、雨に限らずと受け止めている。

① こども館をオープン化し雨の日に行きたい場所になるためには

教育長・教育委員・教育次長（フリートークの形）

- ・ こども館が開館した時には利用の期待度があった。使い勝手が窮屈な感じを受ける。料理等もしたいが、難しさがあった。
- ・ 利用について地域の方が知ることが大事。社協・地域おこし協力隊他でブースを設けたイベントに多くの方が来た。その時に「来てもいいんだ」という声があった。
- ・ 何も無いのに行ってはまずい感じがする。図書館だったらイベントをやってなくても入ってきていいと思うんだけど、こども館は何か無いのに入ることの難しさがある。“何しに来たの”？になってしまう。行って〇〇をしたい、行けば情報が得られる（常時何かの情報提供？）等、行けば△があるとなることが望まれる。
- ・ イベントが一つのきっかけとなる。公園ができれば利用価値が生じてくる。
- ・ 放課後児童クラブが給食センターの跡に移る可能性がある。
- ・ 以前、虫を持ち込んでダメという状況があった。また、ベビーカーの入りについても規制があった覚えがある。今は…。
- ・ お昼の規制
- ・ 多くの方がきてもOKなの？
- ・ スタッフをどう位置付けるか。今は、平日の夕方・土曜日に活動補助員が待機していて、何かあったら対応・支援の形をとっている。児童館としての在り方を検討していく必要がある。
- ・ 現在、放課後児童クラブの子ども達は登録しているが、一般利用する人たちも事前登録をする必要がある。
- ・ 何かあった時・事故があった時のことを考えても分かるが…、もう少し、自由度がある状況を描いていく必要があるのでは。

教育長

- ・ これから動いていく中で、委員の皆様の考え方・お知恵をいただきたい。

② スクールバスの利用者アンケート調査を検討（自転車通学含む）

教育長

- ・ 南部小卒業生が今後増えていくので、スクールバスの台数も増えていく事が予想される。南部小学校卒業生（中学生）の自転車通学を含め、スクールバス利用アンケート調査の実施についての検討と受け止めている。

教育長・教育委員・教育次長（フリートークの形）

- ・今、5台あるうちの4台のスクールバスが運行している。現状として足りなくはない。
- ・バスの台数に関して、今後の生徒数、中学校の日課、帰りの分便数・コースの関係がどうなるか。
- ・南部小学校卒業生（中学生）の自転車通学をどう考えるか。夏休み等、部活動にかんしては自転車通を認めている現状がある。
- ・自転車通学を希望する生徒もいるのではないか。
- ・自身の経験で、徒歩での通学途中に変質者が出て、自転車通学が認められた経験がある。スクールバスはなかった。徒歩より自転車通学の方が安全だからという理由だったと思う。
- ・スクールバスはなく、部活がない時には自転車通学OKで、部活がある時には自転車通学は不可という経験がある。
- ・雨の日、雪の日もある。
- ・私たちの中学生時代とは、交通事情がだいぶ変わってきている。特に朝の時間などは非常に車の往来が激しい現在。危険さが昔より増していると思う。事故にあう怖さがある。
- ・A高校では、バイク通学による事故が続いたため、バイク通学を禁止したと聞いている。
- ・基本はスクールバスとしながら、選択肢として自転車通学をどう考えるか、と思う。
- ・親としては、スクールバスの方が安全と思う。

教育長

- ・今後、アンケートを実施するかしないか、実施する場合内容等、検討を深めていきたい。

③ 学校の各担任における最低限のICT活用ルールについて

教育次長

- ・教職員がタブレットを活用しているかということについてです。ICT支援員を各校に配置しています。ICT支援員の支援を受けながら、県から出されたICTの基本的な活用の仕様書がありますので、先日の3校校長会でもお伝えしましたが、今後も活用の促しを図っていきます。

教育委員

- ・ICTを使わない先生がいてもいいのでは？
- ・隣のクラスの先生は使うが、うちの先生は使わないという子どもの声もある。
- ・子どもが満足する授業をめざして「どう」使うかを大事にしたい。

④ 図書館の拡張について（工事を含）

教育長

- ・（私）図書館長でもあり、4月から学校教育課がこども館に移動したので、その空間を図書館で活用できないか、構造上のことを含め検討をしています。現在の村図書館空間の活用を含め、村図書館の魅力アップに努めていきたい。

（6）休日部活動の地域移行について

<会議資料 4>

※会議資料にて休日部活動の地域移行の動きを説明

○部活動の休日の地域クラブへの移行に関して、社会教育係との関係・連携、社会教育係が担う業務等を明確かつ共有することにより、わくわくクラブも事務局を担っていく方向。

- ・わくわくクラブのスクールの一つとして地域クラブを立ち上げる方向で、わくわくに所属しながら自主運営していく。
- ・基本現在ある部活動を軸に移行を描いている。

○作業部会の進捗状況 4月26日 第3回作業部会事前打ち合わせ

○休日の地域クラブ立ち上げ3条件について

- ① 組織づくり ② 規約 ③ 指導者

教育委員

- ・指導者への謝金をどうするか課題がある。受益者負担、村・県からの補助を含め検討をしていく必要がある。また、指導者は誰でも、という訳ではない。力量の課題のあるのではないか。

（7）教育委員から

- ・地域に登下校等、元気な子どもの声が聞こえて「いいな！」と思う。
- ・経ヶ岳強歩に向けて、生徒が走っている。急に暑い日になることがあり、健康状態が心配。是非、体調管理に留意していただきたい。
- ・入学式、まっくんキッチン（給食センター）竣工式での児童生徒の代表挨拶が、とてもいい。

・まっくんキッチン（給食センター）が動き始めたが、何か課題があるでしょうか。
教育次長兼学校給食センター長

- ・食材を搬入するプラットフォームが高く、業者軽トラで搬入する時に苦慮する状況があり、検討したい。また、地域の方が野菜などを給食に提供する（村産村消）仕組みづくりを大事にしたい。

教育委員から

- ・食育と共に、希望献立の実施など楽しみにしたい。

(8) 5・6 月定例会日程について

5 月 21 日（火） 15：00 村民センター小会議室（予定）

6 月 24 日（月） 15：00 村民センター小会議室（予定）

(9) 4 月事業報告・5 月事業計画について

＜会議資料 5＞

※会議資料にて報告・確認

(10) その他

① ^{なかがみ}中上主幹指導主事学校訪問について ※日程詳細後日

9 月 25 日 10：00～12：00 南部小学校

9 月 27 日 13：00～16：00 南箕輪小学校

10 月 4 日 午前 南箕輪中学校

② 5 団体マレットゴルフ大会

期日 6 月 15 日（土） 大芝高原マレット場 14：00～

4 その他

※南箕輪村男女共同参画推進委員に増澤智代教育委員お願いします。

5 閉会

以上